

三郷市立北中学校だより

きたちゅうものがたり

令和4年6月号

住 所 三郷市泉2-13-1

生徒数1年 225名 (男子106名 女子119名)

2年 222名 (男子120名 女子102名)

3年 206名 (男子111名 女子 95名)

合計 653名 (男子337名 女子316名)

北中物語

学びを紡ぎ
夢を叶える
北中



ひらさき薫る

わが校旗

かかげて進む

この誇り

北中HP
QRコード

TEL 048 (952) 5281

FAX 048 (952) 4261

～「何とかなる！」
が合言葉～



てつがく いじめを哲学する

校 長 広木 友和



私 「いじめは、どうして起こってしまうのかな？」

生徒A 「本人は冗談のつもりで言ったことが相手は冗談とは受け止めず、そのことがきっかけで言われた人と仲間が、みんなで言った人を無視することが、小学生のときにありました」

私 「自分の周りでいじめがあったらどうするかな？」

生徒B (少し考えた後) 「いじめられている人の味方になります。でも、自分もいじめられてしまうのが怖い…」

5月9日(月)から行っている1年生との校長面接の一場面です。「将来の夢は?」、「今頑張っていることは?」などの質問に、多くの生徒が、多少の緊張感の中にも笑顔で答えてくれています。私にとっては生徒と直接話せる至福の一時、毎日元気をいただいています。(高い栄養ドリンクより効果あり?) 冒頭の質問への返答は難しいとは思いますが、多くの生徒が自分なりの哲学(物事の捉え方をわかりやすく説明できるよう追及していくこと、また、その考える過程に着目した学問)で考え、答えてくれています。

コロナ禍の続く中、命に係わる報道が増加傾向にあります。その中で、いじめが発端の重大事案も、残念ながら後を絶ちません。「いじめ防止対策推進法」が施行され、9年が経ちますが、いじめの捉え方について私たち大人、そして生徒のみなさんも今一度の共通理解が不可欠のようです。一昔前なら「そのくらいは…」で片づけていたことでも、今は「いじめ」になることが少なくないのです。ある生徒Cさんの言動が、ある生徒Dさんが「嫌だった」と言えば、Cさんにいじめたという認識がなくても、Cさんの言動はDさんへのいじめとして認知しなければならないのが、前述の法律なのです。

いじめが起こる要因の一つとして、自らの行動を他者の視点から検証する思考力が欠けていることがあります。では、どうすればよいか、18世紀の経済学者で、道徳哲学者のアダム・スミスは、「想像上で他者と立場を交換してみたらよい」と哲学しました。例えばクラスに変わった子(Eさん)がいて、「空気を読まない子」として無視されているとします。ここで、もし自分がEさんだったら…と、「想像上の立場の交換」ができると、無視がいじめに見えるかもしれません。また、自己中心的な見方を改めながら自己と他者を、外から「公平に見つめる第三者」になる努力を重ねると、同じ過ちを繰り返さなくなるようです。異分子の存在は、自分と異なる考え方を学ぶチャンスなのです。また、「公平に見つめる第三者」は、いじめを目にしたとき、自ら止められなかったとしても、さりげなく被害者に寄り添ったり、大人(先生)にこっそり相談したりできるのです。

これからもみんなでいじめを哲学し続け、互いを尊重できる学校にしていきたいと思います。

6月・7月当初の主な予定

日にち	曜日	学校行事等
1	水	歯科健診 2-3456、3-1
2	木	⑥生徒総会 5学テスト
3	金	専門委員会 歯科健診 3-23456
4	土	第1回英語検定(1次)／北中会場
6	月	集金引落
7	火	3年生修学旅行1日目
8	水	3年生修学旅行2日目 食育指導 1-12 学習会
9	木	3年生修学旅行3日目 食育指導 1-34
10	金	通信陸上県大会
11	土	通信陸上県大会 市P連総会
13	月	⑥生徒総会(学総社行会) 食育指導 1-56
14	火	学校総合体育大会1日目 短縮3時間 給食あり
15	水	学校総合体育大会2日目 短縮3時間 給食あり
16	木	第1回東部地区学力検査(3年)
17	金	学校総合体育大会3日目 通常時間割 5学テスト
20	月	内科検診 1-456
22	水	学校総合体育大会(ハンド) 学習会
23	木	学校総合体育大会(ハンド) 学総大会予備日
24	金	学総大会予備日
25	土	期末テスト前諸活動停止期間(～7月1日朝)
29	水	支援担当訪問 短縮5時間
30	木	期末テスト1日目 短縮4時間
7月1日	木	期末テスト2日目 短縮4時間
2	土	第1回漢字検定／北中会場
4	月	第3回前期専門委員会
5	火	集金引落

5月16日～6月3日までの最大4週間、北中を数年前に卒業した6名が教育実習を行っています。実習生と過ごす日々から、大学生になった自分を想像した人も多かったのではないのでしょうか。今回は、実習を通じての6名の言葉を紹介します。夢を叶えようとしている教育実習生の姿と言葉から、みなさん自身の夢や将来、目標などについてもぜひ考えてみてください。



北中生は、明るくまっすぐな笑顔の、心の優しい生徒がとても多いです。保護者の皆様が、小さい頃からたくさんの愛情をもって向き合っていたらよかったのだと感じました。北中の先生方のような、生徒と真剣に向き合える教師になれるよう、これからも精進してまいります。

Tさん(2016年卒業)[写真一番右]

今の北中と、私が在籍していた当時の共通点は、あいさつがすぐに見えることと、その声の大きさです。私は、生徒を誰一人置いていかない、生徒が思いや悩みを打ち明けやすい教師になりたいです。

Uさん(2016年卒業)[写真左から三番目]

1年6組で過ごして、協力する心を持った生徒たちがとても多いと感じました。どの先生の授業も、生徒が進んで学習できるようなものでした。北中の先生方のような、「考える力」を伸ばせるような教師になりたいです。

Oさん(2016年卒業)[写真左から二番目]

北中生は、何でも素直に吸収して、行動に移せる生徒が多いです。生徒のみなさんから私もたくさんのことを学びました。生徒一人一人の想いに寄り添い、信頼してもらえるような元気のある体育教師になりたいです。

Aさん(2016年卒業)[写真右から三番目]

北中生は、積極的に話しかけてくれる生徒が多く、あいさつも活発です。実習中、先生方が親身になって生徒の話を聴いている姿をたくさん見かけました。私は「生徒に寄り添える」教師になりたいと思います。

Wさん(2016年卒業)[写真右から二番目]

北中生は、元気で素直な生徒が多く、何事にも真剣に取り組んでいます。保護者の皆様の日頃のご指導あつてのことだと感じます。今回の実習を経て、私は生徒一人一人に向き合える教師になりたいです。

Tさん(2017年卒業)[写真一番左]

PTA 総会

コロナ禍で開催できなかった PTA 総会を今年度は2年ぶりに実施しました。昨年度の役員を引き受けていただいた皆様には活動の制限がかかる中、本当にお世話になりました。

今年度の役員の皆様、ここまでコロナ禍で止まっていた PTA 活動と一緒に一歩前進させましょう。



中間テストの朝

今年度初めての中間テスト。1年生にとってはそもそも定期テストが初めてになります。

1年生は黙々と一人学び。2年生は廊下で仲良く集団学び。3年生は、生徒によっては花に水をあげています。

それぞれの朝の様子です。



スポーツデイ(61回運動会)

5月28日(土)に行われたスポーツデイの様子です。今年は3年生の保護者の方が1名参観でき、子供たちの姿を見てもらいました。準備から片付けまで本当に素晴らしい1日となりました。当日の様子は HP に UP しておりますので是非ご覧ください。



除草ボランティア

生徒会本部役員の呼びかけに299名もの生徒がスポーツデイに向けての除草ボランティアに集まってくれました。生徒会スローガンの『繋ぐ』は確実に広がっていると確信した瞬間でもありました。

3年生の背中を目を輝かして見ている1・2年生。綺麗になったのは校庭だけではなくたようです。



北中生を迎える草花たち

本校舎3年生の昇降口にゴールドクレストが2つ置かれました。花言葉は北中生のピットリ「真っ直ぐ生きる」です。また、様々な草花が彩られております。是非見に来て下さい。



図書館 オリエンテーション

1年生に図書館の使い方についてのオリエンテーションがありました。図書館に加え、「よもっと広場」や「ブックストリート」なども上手に活用し、色々な「本」と会いましょう。

3年生の皆さんは校舎が遠くなりましたが、久しぶりは足を運んでみるのもいいのではないのでしょうか？

